

学友会特別企画

教養北芝生に、野外ステージをつくり、コンサートカラオケのど自慢大会を、行うとのこと。のど自慢大会には、優勝賞金1万円がつくとのこと。

写 真 部

秋の新作発表写真展を行う。テーマは「音」とのことである。

茶 道 部

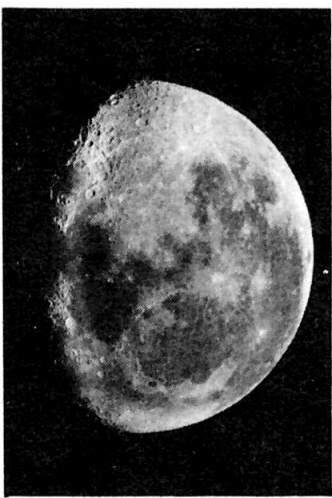
例年通り、事務局の前庭でお茶会を催す。昔の囲合屋の雰囲気ねらっているとのこと。

鉄 道 研 究 会

産業と地域に活躍する臨海鉄道にスポットをあて、日頃影の部分を展示していこうとのこと。その他、鉄道模型やスライド上映もある。

天 文 部

例年は、天体写真の展示、スライド上映に終わっていたが、今年は新しい試みとして、部内分科会の研究発表ももり込んだとのこと。分科会の研究発表によって、企画を見にくる人と天文部との交流をはかっていきたいとのこと、その内容は、神神、宇宙、惑星について



電子計算機研究会

コンピュータについてあまり知識のない人も興味を持てるよう、わかりやすい内容の展示が企画されている。また部員の個人所有マイコンの展示、マイコンによるシンセサイザーの自動演奏やデモが行なわれる。

SFぶんがくファンクラブ



例年、ユニークな企画を出す今年の、SFぶんがくファンクラブの企画は次の通りである。

〔Part I〕

第I部 堀江美都子ショー

第II部 「展覧会の絵」上映

〔Part II〕

第I部 「ソイレントグリーン」上映etc

第II部 眉村卓氏講演会

現代文学研究会

現文研の日常活動としてある研究会が、大学祭において、オープンな形で行なわれる。題材は次の通り。
『カラマゾフの兄弟』 ドストエフスキー
『赤頭巾ちゃん気をつけて』 庄司 薫

点訳の会キツツキ

視覚「障害」者の人々に対する、一般の晴眼者の人々の理解を広めてもらおうとのことで展示が企画されている。合わせて、点訳講習会が行なわれる。

'80大学祭企画紹介

今年の大学祭で、映研では鈴木清順監督の作品を五本ほど上映する。
鈴木清順は一九六〇年代に日活の通俗プログラム、ピクチャのアクション路線監督たちの中から、異色の味わいをもって突然現われた。形はあくまで通俗アクションものだが、その作風には、ギャグ映画ややくざ映画を、徹底的にふざけた見世物にしてしまいがちで、そこに一種の無常観を生み出す、といった技巧がみられる。

その鈴木清順監督の一連の仕事のピークをなすものであり、今度の上映会でもとりあげる作品に、「けんかえれじい」がある。
主人公は昭和十年代の日本の軍部と右翼が武力による大陸への侵略をしきり

演 劇 部

「赤色エレジー」

別 分 実 作

22日

PM1:30～ 学館ホール

「新劇」10月号掲載の別役実氏『赤色エレジー』は断定的に要約すれば、革命運動に対する烈しいアイロニーを含みつつ、一人の青年革命運動家にスポットをあて、そこにおいて現代の若者の屈折した精神風土を浮き彫りにしようとした脚本である。と言つてよいであろう。この脚本に、次の二つの視点から、問題提起を行なってみよう。

まず、現代の若者の精神風土の把握に決定的な誤解がある。ここに、描写された精神風土とは、70年代前半の半的装いのものであって、アナクロニズムといつてよいものだ。たしかに70年代前半においては、全共闘敗退後の挫折感、イデオロギーへの拒否反応、そしてその結果としての「内向の世代」を形成していた。フーコクも、プロテスト性で立脚しつつ、状況にかかわっていたのをやめて、四半の世界へと閉じこもっていき、70年代前半の状況は確かに『赤色エレジー』の世界であったかもしれない。しかし、現状の状況は「さか、期待する」



映画研究部

鈴木清順 作品特集

で企められ、右翼的装いをもって現われ、当時五・一五事件、二・二五事件をおこした右翼、軍の青年将校らにあらがれる右翼的あはれん坊になつていったのだ。そうしたあの時代なりの苦悩とロマンチズムが、この映画には、いささか甘美ではあるがしかし痛烈に苦い皮肉となつて描き出されているのではないだろうか。日時 23日十時半より 24日十時半より 入場料 一〇四番 三〇円 上映映画 東京流れ者 関東無宿 悲愁物語 刺青一代 けんかえれじい

津島大学寄席

津島大学寄席が、23日24日と学館和室にて行われる。開演は9時からで、出演者は、二〇人の予定である。今年例年になく、師匠と弟子、兄弟弟子というように二代四代にわたる、二人会形式で行われる。前年までは、出演順がランダムであったが、今年からは、弟子が出てから師匠で丁寧な言葉使いに、亭主が出るというように、落語を含めまわりのものが四苦界ならではの師弟関係が重視されている。師匠弟子と、若に芸に一層はりがでるのではないかと期待される。さて、出しものであるが、椿家ばんちの「あわびのし」が、椿家のほかの「延陽但」など、が、みものと思われる。「あわびのし」の方は、落語によく使われるネタであるが、まねけ亭主として、つかり者の女房の対話のやりとりである。両者の対照をいかに笑ひへ導くかがみどころである。また、「延陽但」の方は京都の武家の家から、一介の町人の長屋嫁いだ嫁さんの話で、その嫁さんの上品が出るというように、亭主が丁寧な言葉使いに、亭主八苦するという話。まわり環境にふつりあいな、言葉そのもののおかしさもあることながら、戸惑う長屋の住人の滑稽な姿を、どこまで出せるかがミソとなるだろう。

MODERN MUSIC
coffee & rock
COSMOGRAPHIA
岡山市表町3-12-5 TEL (0862) 33-3924

ピザ・パーティ!! <お1人様1,500円よりワイン飲み放題>
学割制有り 年中無休
希望のむきは 来店の際お申し出下さい
●営業時間 午前11時～午後9時
☎0862(32)5522 **岡山店**

ひろげよう吹奏楽の輪!!
11/16～11/25 アンサンブル楽譜 展示即売(洋書)
11/16～12/15 吹奏楽譜
11/23 クラリネットクリニック(クラリネット)無料調整 TEL予約
長谷川楽器店
岡山市表町3丁目3-20(深紙小学校南)
TEL (0862) 25-2858(代)

ROCK & BLUES
PM0:00～PM11:00
ビートル
岡山・中山下1丁目はるやま地下 ☎33-2953

マウイ店
やのす〜
ぬいぐるみ アクセサリー **赤レンガ**
vivve ビブレ岡山
プラモデル 鉄道模型 **ホビーボックス**
※長期アルバイト募集中! 詳しくはすずき・村田まで